箱根ジオパークとは

Hakone Geopark

ジオパークとは地球活動の遺産を主な見どころとする自然の中の公園です。ユネスコの支援により設立された世界ジオパークネットワークにより、世界各国で推進されています。箱根火山は、世界的にみてもたいへん有名な火山です。豊かな自然と密接した歴史があることから、まさにジオパークに相応しい地域と言えます。

北と南をつなぐ自然のみち

この地域は、伊豆・小笠原弧が本州弧に衝突したプレートの境界域に位置することと、その中心である箱根火山が、南北にのびる天然の障壁をなしていることです。箱根火山は、その北に連なる丹沢山地をはじめとするフォッサマグナ地域と、その南に連なる伊豆半島から伊豆・小笠原諸島の自然をつなぐみちに位置します。

東と西をつなぐ歴史のみち

日本の歴史を形作ってきた東海道は、東西を結ぶ大動脈です。戦国時代の小田原城や石垣山一夜城、中世から始まり江戸時代に隆盛を迎えた石材採掘、江戸時代の箱根関所跡などは、かつてあった東西の摩擦や緊張を今に伝えています。まさに本地域は、古代からの日本の東と西の文化をつなぐ歴史のみちに位置するのです。

箱根ジオパークを歩こう

北条氏 VS 豊臣氏の小田原合戦を知るコース

03　コース案内
04　箱根火山の自然と歴史のあゆみ
06　コースマップ
08　歴史的背景
09　入生田駅／生命の星・地球博物館／太閤橋からの眺め
10　溶岩を使った土留めの石垣
11　早川石丁場、箕ヶ窪橋下／姫の水橋からの眺め
12　石垣山一夜城
13　富士山砦と大外郭の眺め／海蔵寺
14　早川口遺構と小田原用水／小田原城／郷土文化館
15　小田原立ち寄りジオスポット

ぶらっと箱根ジオパーク

コース案内

小田原北条氏の居城となった小田原城は、箱根火山の外輪山からつづく尾根の先端につくられました。小田原城は、その背後には険しい箱根火山がそびえ、西には箱根火山から流れ出る急流の早川があり、南には相模湾、東には暴れ川の酒匂川という天然の要害を利用した城でした。北条氏の治世もよく、小田原は戦国時代に栄えた地方都市のひとつでした。その北条氏を、支配下に入れようとして西からやってきたのが、天下統一を目指す豊臣秀吉です。秀吉がつくった石垣山一夜城は、小田原城とは早川をはさんで南側の箱根火山の外輪山からつづく尾根に位置しています。このコースでは、小田原北条氏と豊臣秀吉の小田原合戦の様子を、石垣山一夜城から小田原城まで歩きながらたどってみます。また、この地域からは、江戸城の石垣の石も切り出されました。博物館や展望台など、コースの途中にある見どころも合わせて紹介します。

南郷山からのパノラマ

幕山の梅林と柱状節理

三ツ石海岸

千条の滝

番場浦海岸の採石跡

箱根関所

箱根火山の自然と歴史のあゆみ

2012年	箱根ジオパーク誕生
2000年代	
1950年代～	
1930年（昭和5年）	北伊豆地震　箱根離宮全壊
1923年（大正12年）	大正関東地震
1904年（明治37年）	宮之下～芦之湯～箱根町間　車道開通
1901年（明治34年）	滝廉太郎「箱根の山」（原題 箱根八里）を作曲発表
1900年（明治33年）	国府津～箱根湯本間に電車開通（小田原電気鉄道）
1888年（明治21年）	国府津～箱根湯本間に馬車鉄道開通
1887年（明治20年）	新橋～国府津間鉄道開通 ドイツ人医師ベルツ、大涌谷に温泉治療所の建設を提案 塔之沢～宮之下間車道開通
1886年（明治19年）	小涌谷温泉誕生
1868年（明治元年）	貴船大明神から貴船神社に改称
1802年（享和2年）	荻窪用水完成
1680年（延宝8年）	箱根道石畳となる
1619年（元和5年）	箱根関所開設
1600年初頭	●早川石丁場で採石
1592年（文禄元年）	●大久保忠世、小田原城主となる　小田原城築城
1590年（天正18年）	●豊臣秀吉、小田原攻め　石垣山一夜城築城
1495年（明応4年）	●北条早雲、小田原攻め　小田原城築城
1418年（応永25年）	大森頼春、小田原城築城
1300年（正安2年）	箱根精進ケ池・六道磨崖仏造像開眼供養
1180年（治承4年）	源頼朝、石橋山の合戦で敗れる
889年（寛平元年）	貴船神社（当時は貴宮大明神）創建
757年（天平宝字元年）	箱根湯本温泉が開かれる。箱根神社創建
2000年前頃	神山水蒸気爆発
2900年前頃	箱根火山最後の大規模噴火、冠ヶ岳の形成
3000年前頃	神山山体崩壊、芦ノ湖誕生
4万～2900年前頃	●神山・駒ヶ岳・二子山などの後期中央火口丘の形成、羽根尾貝塚の形成
4万年前頃	仙石原湖誕生
6.5万年前頃	●東京軽石流をもたらした爆発的噴火
13-8万年前頃	●鷹巣山溶岩、屏風山溶岩などの前期中央火口丘の形成
23-13万年前頃	●カルデラと外輪山の形成、真鶴溶岩、幕山溶岩などの大規模噴火
27-23万年前頃	●明神ヶ岳、米神溶岩などの箱根成層火山群、独立単成火山群
35-27万年前頃	●金時山、明星ケ岳などの箱根成層火山群の形成
40-35万年前頃	箱根火山の活動のはじまり（天昭山溶岩、畑宿溶岩など）
400万年前頃	箱根火山の基盤岩（早川凝灰角礫岩）の形成
1500万年前頃	箱根火山の基盤岩（湯ヶ島層群）の形成

● 印はこのガイドパンフのコースで見ることができます

早川石丁場

カツラゴ海岸の真鶴溶岩

大涌谷の噴気

基盤岩がつくる不動滝

小田原城天守閣所蔵　北条早雲

小田原城

飛龍の滝

箱根ジオパークを歩こう

北条氏 VS 豊臣氏の小田原合戦を知るコース

1 小田原北条氏五代
― 戦国時代 100 年にわたる繁栄 ―

戦国時代の小田原は、戦国大名小田原北条氏五代の拠点として繁栄しました。初代北条早雲から五代氏直（うじなお）まで、その勢力は関東地方全体に及んでいました。

1590 年、天下統一を目指す豊臣秀吉との小田原合戦に敗れ、四代氏政（うじまさ）は責任をとり自刃、五代氏直は高野山に追放され、小田原北条氏は滅亡しました。

小田原合戦を最後に戦国大名が消滅して戦国時代が終り、時代は秀吉の天下統一から徳川家康の江戸幕府成立へと動いていくことになりました。

2 小田原合戦
― 北条氏と豊臣氏との天下分け目の戦い ―

小田原城天守閣所蔵

天下統一を目指す豊臣秀吉にとって、関東を支配する北条氏は大きな障害でした。北条氏は、はじめは豊臣氏の支配下に入ると表明しました。しかし、北条氏の家臣が豊臣氏支配下の城を奪ったことから、秀吉から宣戦を布告されてしまいます。1590 年、豊臣勢は総勢 18 万余から 22 万余の大軍で、小田原攻めをはじめました。これに対して、北条氏は土塁と空堀をはりめぐらした総構で防御力を強化した小田原城を中心に、関東各地の支城を防備して籠城戦で迎え撃ちました。秀吉は、小田原全体を見下ろす石垣山一夜城を築城し、小田原城を包囲して主力を封じ込め、各地の支城を次々に破っていきます。孤立した北条氏直は、戦闘継続は無益と判断して小田原城を開城し、降伏しました。

1 入生田駅（いりうだ）
― 駅舎は小さな玉手箱 ―

小田急小田原駅から箱根登山鉄道で三つ目の駅です。石垣山一夜城へのハイキング、生命の星・地球博物館や春日局（かすがのつぼね）ゆかりの長興山紹太寺（ちょうこうざん しょうたいじ）への最寄駅です。さあ、出発しましょう。

2 神奈川県立生命の星・地球博物館（せいめい ほし ちきゅう）
― 地球 46 億年の歴史を体験 ―

地球や生命、神奈川の自然、自然と人との共生をテーマとしています。箱根ジオパークの案内がロビーに展示されています。

3 太閤橋（たいこうばし）からの眺め
― いろいろな形をした箱根の火山 ―

太閤橋の名前は、太閤秀吉の一夜城へ通じる道に由来します。太閤橋から早川の上流方向を眺めると、箱根火山の山々が目に入ります。早川の両側になだらかに続く山々は、箱根の外輪山の一部で、白銀山や塔ノ峰、明星ヶ岳、明神ヶ岳につながります。約 30 万年前に噴出した溶岩でできています。博物館の屋根越しに見える山々は、中央火口丘です。左側の低い平らな山は、約 10 万年前の噴火でできた屏風山（びょうぶやま）です。その右のドーム型をした山は、約２万年前の噴火でできた二子山です。箱根火山は、噴火した年代や溶岩の性質が異なる複数の火山からできていて、それぞれの山の形も違っています。

解説にあるマークの見方
案内板　ビューポイント　食事　お手洗い

入生田駅
神奈川県立生命の星・地球博物館
太閤橋からの眺め

ジオ旅のはじまり
箱根登山鉄道 入生田駅

マスコットキャラクター
「はこジ郎」

おむすび持って旅にでるゾ！

徒歩 5分

生命の星・地球博物館

展示を巡りながら壮大なロマンに思いをはせる…。

徒歩 5分

太閤橋からの眺め

僕の笠の形と似ているぞ。うれしいなぁ～

徒歩 10分

溶岩を使った土留めの石垣へ

3月下旬から4月上旬が見頃

● 長興山紹太寺　ちょっと寄り道

長興山紹太寺は、江戸時代初期の小田原藩主、稲葉正則（いなばまさのり）が父母と祖母春日局（とむら）などの霊を弔（とむら）うために建立（こんりゅう）した菩提寺（ぼたいじ）です。樹齢約350年のしだれ桜は、枝を八方に広げ、滝のようにしだれて咲く姿が見事です。また、境内の鉄牛和尚寿塔付近の樹叢（じゅそう）は、小田原市天然記念物に指定されています。

シキミの段々畑

板状節理の大石

江戸城石垣用の大石

石の表情を読み取ろう！　徒歩 10分

斜面の転石の大石

徒歩 10分

早川石丁場、箕ヶ窪橋下へ

4 溶岩を使った土留（ど）めの石垣
— 周りの石はすべて箱根火山の溶岩 —

自然のままの石と加工された石のちがいを探しましょう。箱根火山の溶岩は、ほとんど安山岩で、白と黒の小さな鉱物の粒々を持ち、火山ガスが抜けた小さな穴があるのが特徴です。石垣や墓石、庭石等に利用されています。

4-1 段々畑の土留めの石垣

薄く板状に割れる性質（板状節理（ばんじょうせつり））を利用して、石を細かく割って積み上げて、段々畑がつくられています。

4-2 板状の割れ目を持つ大石

箱根火山の中央から流れてきた、板状の割れ目が発達した溶岩の一部です。関白沢から流れ落ちてきたので、角がとれて丸みがあります。

4-3 江戸城の石垣用の大石 ?

江戸城の石垣用に切り出された大石が、運搬中に石曳道から落ちてしまい、そのまま残されたものです。※矢穴の跡があり、加工されていることがわかります。

4-4 斜面に止まったままの大石 ?

石垣山に続く尾根の溶岩がくずれて、山の斜面を転がり止まったままになったものです。角張っていて、丸みがありません。

解説　矢穴（やあな）とは… 石を割るために、あけた小さな穴のこと

5 早川石丁場、箕ヶ窪橋下（みのがくぼ）
— 箱根火山の溶岩を江戸城の石垣に —

石の加工や運搬は、どのように行われたのでしょう？

山の斜面に留まっている大石を、江戸城の石垣用に加工しました。まず、ノミで石の割れる筋目に矢穴をあけます。つぎは、矢穴に水を含めた樫の木、また鉄の楔（くさび）を入れゲンノウで叩いて石を割ります。そして、加工した石は石曳道（いしびきみち）を使って下ろされました。

6 姫の水橋からの眺め
— 箱根・大磯丘陵・丹沢の大パノラマ —

山はどのようにしてできたのでしょう？

姫の水橋は、箱根、大磯、丹沢の山々を見晴らすことができる、絶好の場所です。山のでき方は、それぞれ違います。箱根の山は、火山活動によってできた山です。大磯丘陵は、断層活動によって大地が隆起したものです。丹沢の山は、プレートの衝突によって隆起したものです。

地球の表面は、10数枚のプレートとよばれる硬い岩板におおわれています。それぞれのプレートが動いて、すれ違ったり、沈み込んだり、衝突したりしています。箱根火山はフィリピン海プレートの上にあり、大磯丘陵と丹沢山地は北米プレートの上にあります。この地域は、二つのプレートが接している場所です。

姫の水橋からさらに先へ進むと、左手にスダジイの見事な大樹があります。

石曳道※

ここから江戸城へ　徒歩 10分

早川石丁場、箕ヶ窪橋下

箱根火山

大磯丘陵と丹沢方面

スダジイ

徒歩 20分

石垣山一夜城へ

解説　石曳道（いしびきみち）とは… 石を運ぶ地車が通れるように、斜面に作られた通路のことです。

北条氏ＶＳ豊臣氏の小田原合戦を知るコース

石垣山一夜城の東口

自然石の石垣

井戸曲輪

小田原城を見る

約400年前、秀吉も同じ光景を眺めていた？

武将達の説明板

見晴らしサイコー！

徒歩 30分

富士山砦と大外郭の眺望へ

7 石垣山一夜城

— 一夜城は一晩で出来た？ —

石垣山一夜城は、豊臣秀吉が北条氏を攻めるときに造った、関東で初めての総石垣の城です。秀吉は、城が完成すると周りの樹木を切り、一晩で完成させたように見せたので一夜城と呼ばれています。実際は80日間かかりました。当時の小田原城は、土塁と空堀で守られた木造の館でしたので、北条勢は大層驚いたことでしょう。

物見台から、小田原城を見つけてみましょう。東の方向へ直線で約3kmのところにあります。お天気が良ければ、相模湾を越えて遠く房総半島まで一望出来ます。4月から5月にはシャガの花を楽しめます。

自然石の石垣を観察してみましょう。石垣山は箱根外輪山の末端にあり、溶岩でできています。一夜城の石垣は、箱根火山の溶岩を加工せずに、自然のまま利用した野面積（のづらづみ）とよばれる方式で積まれています。なかでも井戸曲輪（くるわ）は四方を石垣に囲まれ、度重なる地震にも耐えて、一番良く保存されています。小田原城や江戸城の石垣と、比べてみてください。

小田原合戦には、豊臣勢はたくさんの武将達が参戦しました。千利休（せんのりきゅう）も同道し、陣中で茶会を催して天皇の勅使（ちょくし）や武将達および淀殿を慰労しました。早川駅への下り道には、千利休や淀殿をはじめ小田原合戦に参戦した主な武将達の説明板があります。また、この道沿いでは4月は桜を楽しめます。

富士山砦と大外郭の眺望

大外郭

徒歩 10分

海蔵寺

ビランジュの木

おにぎりもいいけど、魚もた好きだいっ

徒歩 20分

早川口遺構と小田原用水へ

● 一夜城ヨロイヅカファーム　ちょっと寄り道

一夜城ヨロイヅカファームは、相模湾を一望する風光明媚な場所にある、地産地消を目指したレストランです。ケーキなどのお土産や、地元農産物の直売もしています。

8 富士山砦（ふじやま）と大外郭（だいがいかく）の眺め

— 細川忠興陣場跡と戦国一の小田原城大外郭 —

富士山砦はもともと小田原城の出城でしたが、小田原合戦で豊臣方の細川忠興（ただおき）が奪取（だっしゅ）して陣を張ったので細川忠興陣場跡と呼ばれています。その右側に小田原城の大外郭（だいがいかく）が続いています。富士山（ふじやま）をつくる岩石は、早川対岸と同じ箱根外輪山の溶岩でできています。

9 海蔵寺（かいぞうじ）

— 秀吉の側近、堀 秀政を弔う —

一夜城の麓にある海蔵寺は、曹洞宗の寺院です。豊臣秀吉の側近の一人であった堀 秀政は、小田原合戦の最中に38歳という若さで病死しました。海蔵寺には、堀 秀政三十三回忌の供養塔があります。境内にある墓石や宝篋印塔（ほうきょういんとう）、五輪塔は箱根火山の溶岩でつくられています。また、近くには国指定の天然記念物「早川のビランジュ」の大木があります。バラ科の植物で、正式名は「バクチノキ」といいます。

● 小田原漁港　ちょっと寄り道

神奈川県西部の拠点漁港で、相模湾の新鮮なアジやイワシが水揚げされます。
場内や周辺にある食堂では、旬の魚料理を楽しめます。小田原提灯の形をしたユニークな灯台があるので、探してみましょう。

北条氏ＶＳ豊臣氏の小田原合戦を知るコース

徒歩 20分

徒歩 10分

立ち寄りジオスポットへ

10 小田原用水と早川口遺構（はやかわぐちいこう）
— 小田原城の守りに使われた小田原用水 —

小田原用水は、小田原北条氏の時代に城下の飲水のために作られたもので、日本初の上水道設備です。低地の自然な勾配を巧みに利用した用水です。早川口遺構は、秀吉の攻めに備えて造られた総構（そうがまえ）の一部で、土塁と堀および小田原用水を利用して二重に配したつくりとなっています。現在は、公園として市民に親しまれています。

11 小田原城
— 天守閣から探す小田原の宝物 —

小田原城は、室町時代から戦国時代、さらには江戸時代から現在まで約 600 年間、同じ場所にあります。城は箱根外輪山からつづく尾根の先端にあり、地層は箱根火山から噴き出した火砕流（かさいりゅう）と軽石および火山灰からできています。戦国時代の小田原北条氏は、箱根火山の火山灰が堆積した赤土を、土塁と堀に利用しました。その城郭は、周囲 9 km にもおよび、戦国時代最大の規模でした。現在の城は、江戸時代の城を復元したものです。箱根火山の溶岩のくずれた岩石を四角に加工して石垣に利用しています。

12 小田原市郷土文化館
— 城下町小田原の歴史と自然に出会う—

小田原城の二の丸のなかにある小田原市郷土文化館は、郷土の自然や歴史に関する資料を収集・保管・展示している博物館です。現在発掘中の小田原城内からの出土品等も展示されています。

小田原市郷土文化館

開館時間 9：00 ～ 17：00
小田原市城内 7-8
電話 0465-23-1377
http://www.city.odawara.kanagawa.jp/public-i/facilities/kyodo/

神奈川県立生命の星・地球博物館

開館時間 9：00 ～ 16：30（入館は 16：00 まで）
小田原市入生田 499
電話 0465-21-1515
http://nh.kanagawa-museum.jp/

神奈川県温泉地学研究所

小田原市入生田 586
電話 0465-23-3588
http://www.onken.odawara.kanagawa.jp/

※休館日は各拠点施設へお問い合わせ下さい

ガイドさんとジオ旅に行こう！

- **時間が無くてもご安心**
  1時間でよくわかる！
  小田原城内の見どころをご案内
- **外国の方も安心！**
  英語で小田原城を中心とした名所をご案内
- **もっと知りたい！**
  小田原の歴史・文学・自然にふれるガイドイチオシの多彩なコースあります
- **自転車でめぐる**
  1日 300 円で乗り放題
- **歴史見聞館**
  小田原の歴史を分かりやすく展示
- **各イベントで活躍中！**
  梅まつり「梅の里ガイド」
  「回遊バスガイドと一夜城ガイド」
- **観光バスもお任せ！藤棚駐車場**
  付近の道案内・お店案内どうそお気軽に

NPO 法人 小田原ガイド協会
〒 250-0014　神奈川県小田原市城内 3-22
Tel：0465-22-8800　Fax：0465-22-8814
URL：http://www.odawara-gaido.com
E-mail：info@odawara-gaido.com

- **1月** 満福寺火伏まつり
- **2月** 梅まつり
- **3月** 桜まつり　3月下旬～4月上旬
- **4月**
- **5月** 北條五代まつり
- **6月** 小田原城あじさい花菖蒲まつり
- **7月** 小田原ちょうちん夏まつり
- **8月** みなとまつり
- **9月** 宗我神社祭礼
- **10月** 一夜城まつり
- **11月** 小田原城菊花展
- **12月** 飯泉観音だるま市

小田原宿観光回遊バス

春・秋行楽シーズン
土日祝に運行中！
便利でお得、乗り降り自由
（一財）小田原市事業協会
0465-23-6660

箱根・真鶴・湯河原ガイド

箱根観光ガイド協会	（箱根町観光協会内）	Tel:0460(85)5443
箱根ボランティア解説員連絡会	（箱根ビジターセンター）	Tel:0460(84)9981
真鶴観光ボランティア協議会	（真鶴町観光協会内）	Tel:0465(68)2543
湯河原まちづくりボランティア協会	（湯河原町役場内）	Tel:0465(63)2111